残念クールな委員長の
ふたなりオナニー活動
クールで通っているJKの縦辺型雑
彼女は家ではオナニーが好きな
とてもエッチな女の子だった！
サークル：むこころの蚤

「こんにちは初めまして」
私は繊辺型雛
学校ではクールな委員長で
通っているいわゆる優等生
ひなちゃんと呼ばれ慕われているわ
今日は私はある目的のために
放課後素早く家に帰り
ある趣味の準備をしていたの
その趣味は…
ギシ

「オナニーなのよ」
人にはあまり言えないから
基本は秘密にしているけど
重度のオナニー好きなの
で、新境地を探そうと友人に
聞いたらとっておきの情報が…
「とても魅力的だけど
同時に緊張するのよ…」
ドキ
ドキ

「ふたなりになれる薬ねぇ…」
友人はふたなりになれる薬を作っている学生ながらの天才
我が友人ながらおかしい人
この日のためにわざわざ男物のシャツも着たし道具は使うかわからないけど準備は万端
「でもオナホ買ってるあたり期待してる証拠よね」
さておき早速お薬飲んでみましょう
「本当にちんぽが生えるのかしら…」
ドキ
ドキ

「んくっ…んぅ」
そもそも飲み薬なんて気楽なもので人の身体に変化を及ぼすなんてどんな危ないモノを配合して…
「ふぅ…あっ…この感じ…エッチな気分…」
体の芯がとろとろと火照ってきたわもしかしてただの媚薬なんじゃ…
「…？股間が熱く…っ！？」
はあ
はあ

「…んひっ!?」
きゃっ!?
ぬるっと生えてきたわ!?
「も、もっとゆっくり
育つものかと思ってたら…」
意外と手早く生えるモノなのね…!
それにしても…
「ちんぽの感覚…
ギンギン張ってる感じで…
疼きが分かりやすいのね…」
あっ♡

「ふふ…これは期待できそう…」
普通の女性では絶対経験できない
ちんぽオナニー
これが体験できるなんて
とても幸運なことね！
「射精ってどんな感覚かしら…
今から楽しみね…」
さぁて…
私のオナニー活動の始まりよ
はぁ♡
はぁ♡

「まず手始めに手コキから」
かしまあちんぽってこんなに熱くて意外と硬いものなのね
「敏感な部位なのに不思議ね」
ドキ
ドキ
さてお次はさっきからちんぽが疼いて仕方ないわ
「こんな感覚が待っているのかしら…」
ますは一擦り…！
ギンッ

「んっ！」
あ、すごい…
手の感触が直に伝わって…
「ん、ふぅ、あっ」
擦っているせいもあって
ちんぽがますます熱く…
コス
コス
「全体が気持ちよく
なってきたかしら」
竿から伝わる感覚…
まんことはぜんぜん違うわ

「ん、はぁはぁ、んくぅ！」
これは…想像以上の感覚ぅ…！
「擦り続けて痒くならないのかと思っていたけど…男性がずっと動かす気持ちが分かるわ…」
あっ♡
んっ♡
だってこんなに息が荒くなってそして気持ちよくなれるなんて…
「興奮するしかないじゃないっ」

「それにしても暑い…
ふぅ、んく」
まんこみたいに指でつまんだり
擦ったりじゃない
単純な上下運動だから楽だけど…
あっ♡
んっ♡
コス
コス
「その分…んはぁ、はぁ…
腕が疲れ、んひっ！
暑くなるわね…あっ！」
もちろんまんこのオナニーも
暑くなるけど…
ちんぽはそれより暑くなるわね

「はぁ…あっ、んくっ！」
なんだかちんぽでオナニーしていると
自分の乳首ですら興奮の
材料になってきてる気がするわ…
「んぁっ、くぅん！
自分の乳首なのにぃ…！！」
なんだかますます興奮して
手の動きが速くなってくる…
「はぁ、はぁ、んっ！
気持ちいいんんっ」

「あっ！ひっ！」
この感覚っ、ちんぽが覆え上がってきて
根本からぞくぞくするこの感じ…！
「これ、がぁ…！んぁあ！
射精する前兆…、ぁああ！
イキそう！」
あっ♡♡
んっ♡
すごいすごい…！
まんことは違うこみ上がり方！
精液が上がってくる感覚がある！！
「ひっ！あぁ！
いくぅっ！！
精通迎えるぅぅう！！」

「あっ、ぁあああ！！」
ちんぽが脈打ってっ、あぁ！！
「ひあっ！
出て、でてりゅう！」
精液がちんぽの中を
おもいっきり流れ出ていって！
「んぁあっ！
ひぃいん！」
…気持ちいい！！

「はぁ、はひっ！くあぁ…！」
これは、夢中になっちゃいそう
まだ興奮が治まらない…！
「俗に言う賢者タイムがあると聞いたけど…」
ちんぽはいきり立ったまま…
あひぃ♡
あへぇ♡
「このままやめられるわけないじゃない…」
もっと射精したい…
射精射精したいしたい…！

「はあ、はあ…んくっ！」
やばい、頭の中がちんぽのことしか考えられない…
「ここまで性欲に忠実になれるなんて…ちんぽの魔力、あっ！すごすぎぃ…！」
ビク
ビク
腰を上げてやるとまた違う感覚…
「犯されてるような、んっ！感覚に陥っちゃう…」
はあぁ♡
ハァ
ハァ
あ♡

「あっ！
ひっ、んくっぅう！」
自分で自分の思いっきり
擦る動きがもうたまらない！
ちんぽのことしか…
気持ちよくなることしかしない
ビク
ビク
「性欲に、エッチなことに
縛り付けられてる
みたいぃぃ！」
気持ちよすぎて
たまらないわ…！
はあぁ♡
ハァ
ハァ
あ♡

「あひっ、んふぅぅ…！」
ダメ…もう頭がくらくらしてきた…
「もっと、もっとぉ…」
ビク
ちんぽちんぽ…もっと擦らなきゃ…
「たくさん精液出して気持ちよくなりたいのぉんはぁんっっ！」
ちんぽきもちいぃぃ…！
ハァ
ハァ
ビク

「んふぅー！
ふぅうー！」
ちんぽちんぽ…！
気持ちよさがもうずっと止まらなくて
「んんぅー！
んくぅふぅうう！」
ちんぽ狂いになっちゃいそう…
というよりももう…
「ふぅんんんぅ！
んんっっ！」
なってるのぉおおお！！
ゾク
ゾク
ハァ
ハァ

「あ！！
あひっぅう！！？」
ひっ！？
うそうそうそそ！？
イッてないのに
精液が通って…！
「精液の
おもらししてるぅぅ！？」
そんなの聞いたこと無い！
でも実際に感じてる！
「せーえき
もれちゃってりゅぅ！！」
ゾク
ゾク
ハァ
ハァ

「あひっ!?
んひゅぅ!」
だ、だめぇ…
もうさっきイッたのと
同じくらい気持ち良い感覚なのにぃ…
「っもっとももちいいの
きちゃいそぉなのぉ…!」
ゾク
ゾク
ちんぽイッちゃう…!
精液出しながら、
精液押し上げながら!
「あひっぅぅ!
あっ、イッ!!」
んぉぉ♡
ビク
ハァ
ハァ
ビク

「くぅぅうううぅ
うぅっっ！！」
精液が…！
ちんぽからいっぱい
飛び出してるぅぅ！
ゾク
ゾク
ビク
ビク
ハァ
ハァ
ゾポ

「んふぅうう～！
あひぃうう…！」
ちんぽがこんなに気持ちいいもの
だったなんて…
「あひっ、んくぅ！！
んぁあ…」
ゾク
精液いっぱい出した後の
疲労感がまた、心地いいわ…
「あぁ…んくっ」
ああ、とても充実した気持ち…
ふたなりオナニーさいこぉ…
んラ♡
ビク
ハァ
ゾクゾク
とろぉ♡

次の日
私はさらなる快感を求めに
ある道具を使うことにしたわ
「オナホとやらを
使ってみましょう」
女性器、つまりまんこを模した
擬似的セックスを用いるアイテム
「ディルド入れたことあるから
される側はなんとなく
分かるけど…」
入れるとなるとと
どんな感覚かしら？
うーん

「さておき勃起を
維持しなくちゃ」
十分興奮はしているものの
やっぱり多少は快感を
得てからのほうが
比較しやすいものよね
「あぁ…気持ちいい…
このまま射精したい気持ちに
狩られるわ…」
でもここは我慢しなくちゃ
オナホが待っているもの
あっ♡
ん♡

「さてローションも入れたし
オナホの準備は万端よ」
このふにふにしたシリコン素材
こんな人工的なもので
まんこを再現してるだなんて
「とても滑稽よね」
オナニーを否定はしないけど
道具に関してはどうとでも言うわ
「それでは
ちんぽをオナホに…」
挿入っ！
ドキ
ドキ

「あきゃぅっ!?」
え、あれ？
今の私の声？
勝手に出ちゃったの？
それよりちんぽが感じる
この快感、もしかして…！
ビク
ビク
あ♡
はぁ♡
キュン♡
にゅ♡

「う、うそぉ…
オナホってこんなに…？」
さっきは滑稽なんて言って
ごめんなさい！
オナホで感じるこの快感…
「気持ちよすぎ、
じゃないの…！？」
オナニーするアイテムを
研究し続けた人たちの
努力の結晶…！
何十年とかけてたどり着いた
性欲の勲章！
「気持ちよくないわけが
んっ、なかったわ…！」
ビク
ゼク
あ♡
はぁ♡
キュン♡
ビク
ビク
ビク

「あっ！あっ、くぅぅ！！
ま、待ってぇ！
もっとオナホ感じていたいのにぃ！」
あまりの気持ちよさに…
もうちんぽが、わたしの性欲が
耐えられない…！
「あっ、まっ、このままじゃ…
んひっ！むりぃ！
ちんぽでちゃっ…！」
ビク
ゼク
あ♡
はぁ♡
キュン♡
ぐちゅ♡
ぐちゅ♡

「あひっ、んぁあああ!!」
少し上下しただけなのにぃ…!
三擦り半の早漏すぎるぅぅ…
ビク
ゼク
ゾク
ゾクゾク
べりべりべり
べりべりべり

「んひぃんっ、ふぅあ…」
オナホ気持ちよすぎてあっという間にイッちゃった…
「…待ちなさいよぉ こんな手持ちのオナホで十分気持ちいいのに…」
奥にある大型オナホ…こっちはどれだけの快感が待っているというの…!?
あ…♡
ビク
ゼク
ゾク
ゾクゾク
はあ…♡
どぴゅ♡

「はぁ、はぁぁ…」
こんな大きなオナホ…
まるで本物に入れるみたいな気分ね
「どんな快感かしら？
どんな世界が見えるのかしら？」
興奮して早く入れたくて…
性欲に溺れた男性の気持ちが
「もう我慢出来ないぃぃ！」
性欲は思考すら凌駕するもの
ほぁ♡
ほぁ♡
ゾク
ゾク
ドキ
ドキ
ギュ

「んほぉっ、んぉおお！！？」
な、何この圧迫感と擦で回す膣壁！
これが快感を最大限に追求した
大型オナホの感覚ぅうぅ！？
「んぁおおっ、んくうぅうう！」
だ、ダメ…
快感で目の前真っ白ぉ…！
「気持ちよすぎぃいいいん…！」
ほぉ♡
んぉ♡
ゾク
ビク♡
ぢゅ
ぢゅ♡

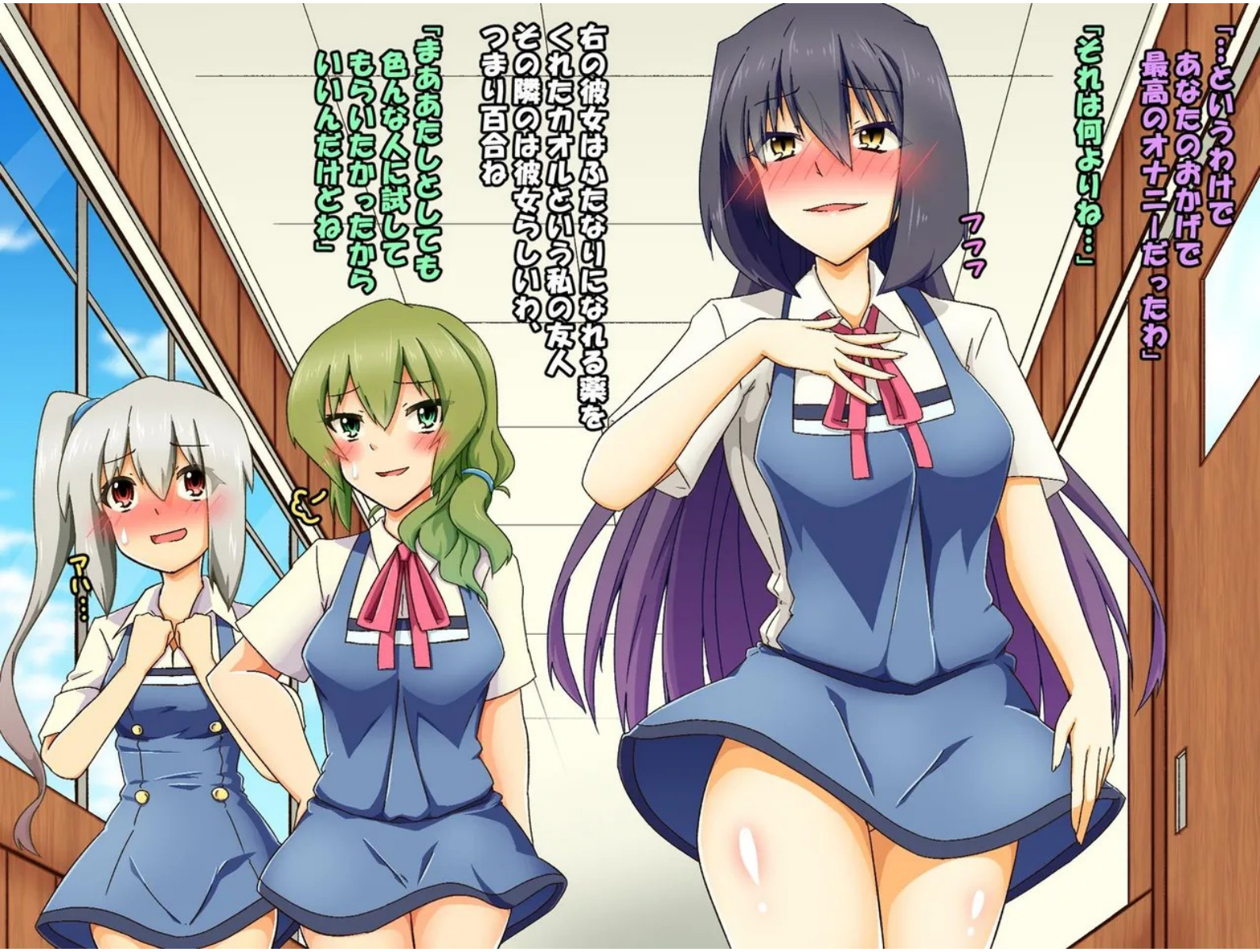
「あっ、ひっ、んふぅう！」
あれ？
オナホ動かしてないのに
気持ちいい…！？
「ちが、これ…！
私が動いてっ、
んはぁあ！！」
腰が勝手に動いて
気持ちよくなってる！
これが大型オナホの魅力なのね…！
ほぉ♡
ビク♡
ゾク
ぢゅぼ♡
ぎゅぶ♡

「んひっ！なんだか…
女の子を犯してる気分になって
きたかもぉ…！」
これも大型オナホの
醍醐味なのね！
「自分で、んっ！
動くから…
本当にセックス
してるみたいな…
あっ！快感んんぅう！！」
オナホとセックスしてる！
私の童貞はオナホに捧げたのね！！
ぼっ♡
ぞくっ♡
ぼっ♡
ぞくっ♡
びくっ♡
びくっ♡
ぢゅぼ♡
ぢゅぶ♡

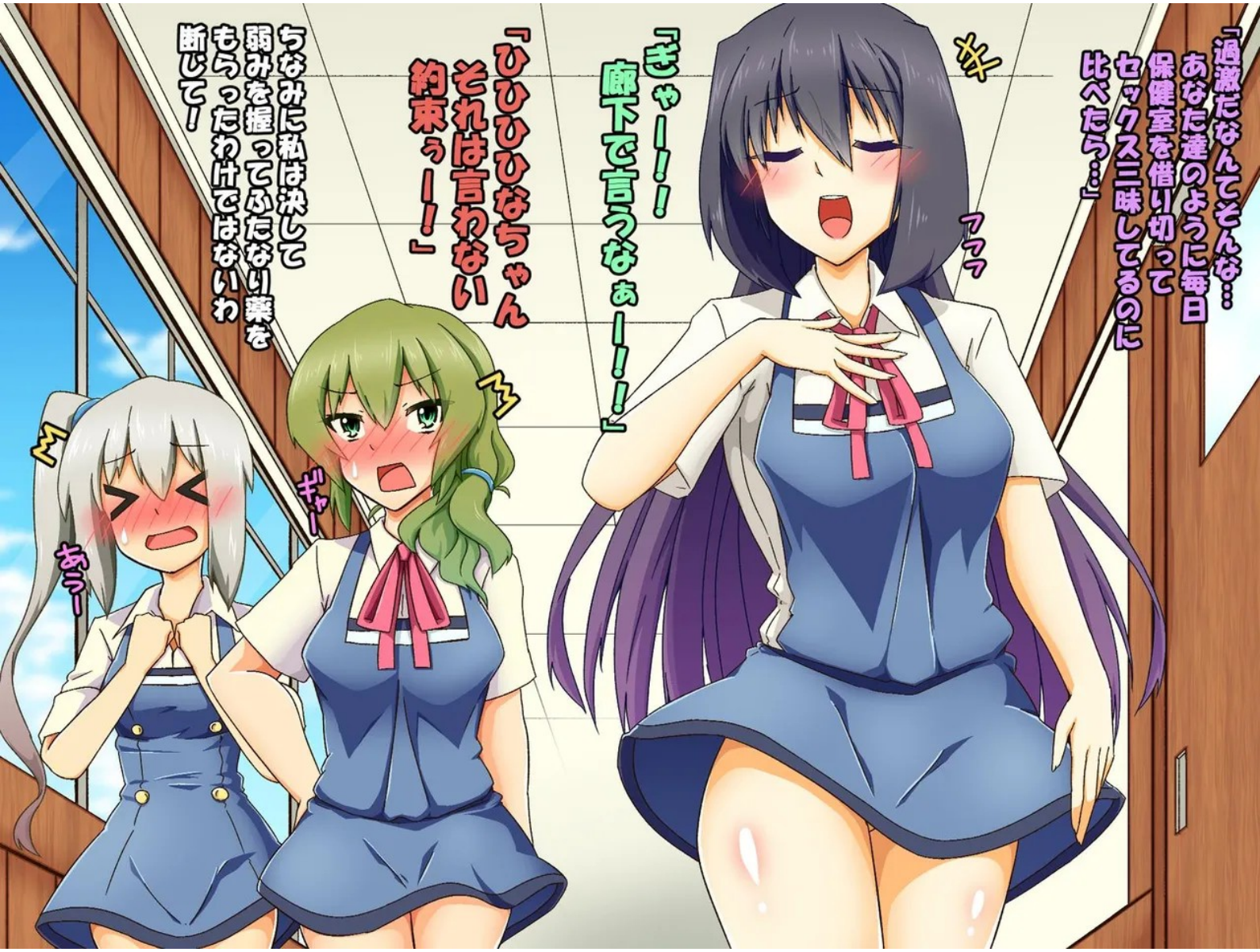
「あっ！
んはぁあ！」
そう考えるとますます
興奮してきたわ！
「ちんぽ気持ちいい！？
オナホちゃん気持ちいい！？」
自分自身の快楽に身を委ねながら
オナホとセックスするオナニー！
「意味分かんないけと
きもちいいいいいい！！」
最高の気分！快感が高まってきて…！！
「このまま、あなたに…
中出し、しちゃ、あぁああ！！」
あっ♡
キュン♡
ビク♡
ちんぽ♡
ずぶ♡

「中出しいいいいいい！！！
んくぁあああ！！」
精液にいっぱいぃ…
オナホ子宮に注いでるぅ…
あぁ♡
キュン♡
ガク
ビク♡

「んひぁ、ひくぅぅん…」
オナホちゃんさいこぉ…
オナニー道具の一流だわ…
「中出しした征服感も感じられて…
もぉたまらないわぁ…」
このまま余韻に浸りつつ
抜く時に思わず射精してしまうとは
今この時点では予想がつかなかったわ
ぎゅ♡
ガク
キュン♡
ビク♡


「…というわけで
あなたのおかげで
最高のオナニーだったわ」
「それは何よりね…」
フフフ
右の彼女はふたなりになれる薬を
くれたカオルという私の友人
その隣のは彼女らしいわ、
つまり百合ね
「まあわたしとしても
色んな人に試して
もらいたかったから
いいんだけどね」
アハ…

「まあ当然よ
私の欲求を満たすという
前提ではあるものの
友人の実験の協力を惜しまないのが
この私、ひなちゃんですもの」
フフフ
「織辺…
あなた外面はクールで通ってるのに
中身は残念よねホント…」
それは自分でも
多少思っているわ！
「ひなちゃん
過激だなぁ…」


「過激だなんてそんな…
あなた達のように毎日
保健室を借り切って
セックス三昧してるのに
比べたら…」
ふふ
「ぎゃー!!
廊下で言うなぁー!!」
「ひひひなちゃん
それは言わない
約束ぅー!」
ちなみに私は決して
弱みを握ってふたなり薬を
もらったわけではないわ
断じて!
ギャー
あうー

「さておき今日も帰ったらオナニーに時間を費やそうかしら…また新しいオナニーネタを見つけたから楽しみなの…」
ぐへへ
「まあ…ほとほとにね一回一錠を守ってくれればそれでいいから」
「ひなちゃん気をつけてねー…」
何か言ってるようだけど私はオナニーのことで頭が一杯で聞いてなかったのでした
まったく…
エヘ…

「これで準備よしと」
今日は男性向け催眠オナニーをしてみることにしたわ
そしてなるべく興奮するような衣装も準備したわ
今まで能動的なオナニーしか知らなかったのだけとふたなりになれたからこそ知れたオナニーの種類ね
「とにかく始めましょう」
「いらっしゃい、夢の世界へ…」
へえ、意外と可愛い声で流れるのねどう気持ちよくしてくれるか楽しみね
ドキ
ドキ

そもそもそんな簡単に
催眠というものにかかるのかしら？
「深呼吸をしましょう
わたしに合わせて…」
「すぅーはぁーすぅーはぁー」
よく聞くのはコインを使ったり
ロウソクの炎をつかったり
「足の先からだんだん力が
抜けていく…じんわりと…」
そういったものは…
よく聞くけど…
ん…

「おなかの力も抜けていく…
じんわりと…抜けていく…」
こう、だんだんと力が抜けていくのは
気持ちがいいものね…
「んんぅ…」
「頭がぼーっとして…
真っ白になっていく…
何も考えられない…」
…眠くなって、きたような…
ん…ぼぅっとして……なにも…
「すぅー…はぁー…」
すぅ…
ぼっ…

……んんぅ
「これからエッチなことをします
そのためにあなたは来たのよね」
…あれ、寝てた…？
いえ、意識がすごく薄かっただけ…
朦気だけど、記憶は…ある
そしてなんだか体中
ふわふわじんわり気持ちいい…
「いままで貯まった
エネルギーが、妄想が
身体の敏感な部分に
集まっていく」
……！
「頭から首、胸を通って、
お腹へ…」
熱いものが…
ちんぽに…！！
ハァ
ハァ
ゾク
ゾク
ゾク

「あそこの根本に貯まって
渦巻いている、たまらない…
気持ちいい…」
「あ、はぁ…はぁん…」
なに、これ…
何も触ってないのに
身体が気持ちいい…！
「体の力は入らない
でも快感が、エッチな気持ちが
アソコで強くなっていく」
「あ、くぁっ！
んはぁ…！」
きもち…いい…！！
ハァ
ハァ

「あなたのアソコ…
もっと気持ちよくなりたいよね？
わたしがいじめてあげる」
？ということ…？
「はむ…んちゅ、ちゅる、じゅぅう」
「んんぅ！！？」
う、うそぉ！？
音声だけで…
ホントにフェラされてる
みたいな…！？
「じゅる、ちゅうぅ」
「あっ、あぁぁあ！」
だめ！
きもちよすぎぃ！
ハァ
ハァ
ゾク
ゾク
ビク♡
ビク♡
あ…♡
あ…♡

「あっ！くあぁ…！ぁあんんんっ！」
「それじゃあそろそろ、ねカウントが0になるとイッちゃうよ？身体が勝手にイッてしまうの…いくよ？」
え？そんなことって…
「10…9…8…」
「あ…！？あぁ、ぁあああ！」
ま、待って！まだ心の準備が…
「5…4…」
「あっ！はぁあぁ…！！」
や…！
射精感が、ホントにぃ…！
「3…2…1…」
あ、く、来る…！
ハァ
ハァ
あっ♡
キュン♡
ビク♡
ビク♡
ゾク
ゾク
キュン♡

「ぜろ！
ぜろぜろぜーろ！！」
「あ、あぁあああ！！
んひゃぁあああ！！」
ほ、ホントにイッちゃってるぅ！
声だけに、犯されちゃってるぅう！
ハァ
ハァ
ゾク
ゾク
キュン♡
キュン♡
ビク♡
ビク♡

「…満足できたかな？
それじゃあまた
気持ちよくなりたかったら…」
「あ、はぁ…くあ、んんぅ…」
こ、こんな、快感が
あったなんてぇ…
「でもまだ、身体が
疼いてる感じが…」
催眠音声は終わったのに…
まだ…したい…！
ビク♡
ビク♡

あっ♡
ぐぐ♡
ゾク
ぐぐ♡
はぁ♡
ゾク
「はぁ…はぁあぁ」
あんなに気持ちよかったのに
物足りなくなってる…
「これもふたなりになった
せいなのかしら…」
でもただちんぽ擦るだけじゃ
芸がないわ…
「だったらここっちしか…
ないわよね…」
…アナルで気持ちよくなろう

「ん、ふぁあ！！」
あっ！気持ちいい…！直接的で、やっぱり催眠とは違う気持ちよさがある…！
「でも、どっちも好きぃ…！」
アナルは前からしてたけど…
「ちんぽがあると、んくぅ！ちんぽの方にも響く、ぅっん！」
前立腺でも、できてるような…いつもするアナルよりいいかもぉ…

ずぽ♡
ずぽ♡
ゾク
ゾク
んっ♡
あ♡
びく♡
びく♡
「あっ、んはぁああ！触ってないのにぃ、またぁ！」
今日は一回もちんぽいじってないのに！ずっと気持ちよくなってるぅ！
「あ、はぁあんっ！アナルもちんぽも、んぁっ！気持ちいい！！」
もっと、大きな刺激が欲しい…！

ずぽ♡
ずぽ♡
ゾク
ゾク
んっ♡♡
あ♡♡
びく♡
びく♡
指を、もう一本っ！
「ん、あぁはぁああ！」
アナルがますますキュって締まって…！
「んぁああ！キツ気持ちいいのぉ！」
ぐりぐりして入り口を刺激するの好きぃ！
「ちんぽもキュンキュン、んぅ！疼いてるぅぅ！！」

ずぽ♡
ずぽ♡
ソク
キュウ
ウン♡
ぴく♡
ぴく♡
ソク
「あ、あっ！だめっ！アナルがじわじわイキそう…！」
ずぼずぼして気持ちよくなって高まって疼いて中で響いて…！
「あ、イッ…！っあああ！」
軽く、イッてぇ…！でもまだ足りなくて…！！
「もっと、もっとアナルをぉん！」

「んんっはぁあ！」
思いっきり広げてっ！
無理やり広げられてぇえ！
「アナルがキュンキュンってぇ！
締まりたがってっ、んくぁあ！？」
あ、あぁあ！？
や、またぁ！？
「ちんぽがぁっ、ちんぽぉ！
触ってないのにぃ……！！」
また射精感が、上がって……！！
「や、じわじわ、登って……！
んひっぁあ！！」
これ、出っ、ぁあ！

「んぉっぉおおお…!!
っはぁあ…っ!」
や…とろとろって…
コレって…
ところてん、
してるのぉ…?

「は、はひぃ…
ひぁっ…」
催眠で射精させられて…
アナルでところてんして…
「ちんぽいじりだけじゃないの…
さいこぉに気持ちいいのぉ…」
ふたなりになって
オナニーの幅が広がって…
「ふたなりって…
ホントやめられなひぃ…」

「今日も今日とてふたなりオナニー」
ここ一週間色んなふたなりオナニーしてきてこれが最後の薬
「また分けてもらわなくちゃならないわね」
ドキ
ウフ
ともかく手持ちの最後の二錠思い切って一気に使えばもっと気持ちいいちんぽができるんじゃないかしら？
ワク
「そうなったら…ふふ、ワクワクするわ…」

「ん……？」
あれ？
いつもならもうちんぽが
生えてきてもおかしくないのに…
「もう10分…」
身体が少し疼いてはいるけど
全く生える気配がないわ
ソワ
ソワ
「…やっぱり二錠一気に
飲むのはまずかったかしら？」
うーん、しょうがないわ
今日は諦めてまた明日…
「……あ、れ？」

「んひっいいいいいい！！？」
んなっ！！？
「あっ、あぁぁあ！？」
ちょ、ま、待ってぇ…！
いきなり生えて同時にしゃせぇ…！？

「あ、はひっ…!?
え、あ、ひぅ…!
コレぇ…ずっとイッてる
感覚して、りゅう!」
う、うそ…こんな快感今まで…
二発一気に飲んだせいとしか…!
「い、イッてるのに…
まだ射精感が
こみ上げてきてるぅ…」
と、とにかくこのちんぽ
止めなくちゃ…
快感で狂っちゃう…!

「あっ！あぁあ！！
だ、だめぇ…全然イケない…！」
手コキしてるだけで今までの
イッてるのと同じぐらい
気持ちいいのに…！
「全然射精しなひぃいぃ！」
もどかしすぎてたまらなくて
でもつらくて…！
「こんな、
こんなのぉおおお！」
ビク
ビク
ビク

「んぉ、んぁああ！」
あ、だめぇ…
頭がもうちんぽでいっぱいでぇ…
「しゃせぇ…したひぃ…！」
乳首も一緒にいじってるのに…
気持ちいいのに気持ちよくない…
「一気におっきぃの…
欲しいのぉ……！」
ちんぽちんぽちんぽぉ！
んっ♡
あぁ♡

「おねがひぃ…ちんぽぉ
しゃせーさせへぇ…」
もう、ずっとちんぽいじり倒してるのに
全然射精しなくてぇ…
快感と比べて射精感が
見合わなくて仕方ないのぉ…
「ことほとほせいえきだしたぃいい…
いっぱいしゃせいしたひぃ…」
もうずっとこのまま射精できないの…？
…もっと色々試さなくちゃ…
「射精、したいものぉ…」
まんこ、いじってみよ…
はぁ♡
あぁ♡

「あ、あひっぅ！！？」
あ、あれっ！？
今イッた！？
射精したの？
精液出たの！？
「あひっ！
ひうっんくぅぅぅぅ！！」
あ、あっ、あぁああ！
イッてる、イッてるのぉおおお！！

「は、はひぃ…！
しゃせー、できたのぉ…！
きもちいいいい…！！」
でも、でももでももでもぉ！
「まだ…全然ちんぽが
満足してないのぉ…！」
もっともっと…
もっとふたなりオナニーで
射精したい…！！
キュン♡
キュン♡
ハァ
ハァ
まっ♡
ぐぐ♡
はぁ～♡
ぐぐ♡

「あ、ぁああ！！
はげしっ！
あぁああ！」
ちんぽとまんこで一気に快感がぁ！
どっちもイッてる感覚がして…！
「んぎもちぃいいいい！！」
さっき射精したばっかりなのにぃ…
もっともっと大きい射精感が
上がってきてりゅうう！！

「あっ！くひっ！
はっ、あぁあ！！
ら、めぇ…！
こんなのぉ！」
耐えられないぃ…！
ちんぽまんこで
射精感が上がりすぎて
はちきれそう！
「あひっ！あっ、くぁぁあ！
らめらめらめぇ！
もぉ…！」
きちゃうきちゃうぅ！
精液きちゃうぅ！
「あひっ！んっ、あぁあ！
イッちゃ、イッちゃぁあ、
っぁあ！」
ハァ
ハァ
ハァ
あっ♡

「あ、ぁあああ！！
ひぅあああああ！！」
イッたぁあああんんっう！
精液の量が…！
今までで さいこぉ…！

「は、はひ、ひぐっ！」
や、こんな射精…気持ちよすぎて意識飛ぶかと思ったの初めてぇ…
「ん、んひっ！んくぅ…え、あ…まだ…」
うそぉ…こんなに射精したのに…
「まだ…出し足りないぃ…！」

「はぁ…んはぁあ…！」
だったらもっとすごい刺激で射精するしか…
「もっと気持ちよくなって射精したら…」
ビク♡
ビク♡
ビク♡
ビク
ハァ
ハァ
はう♡
あっ♡
収まるんだろうけど…
「…うぅん今はこれをどうにかして…」
そうどうにかして…

「いっぱい気持ちよくならなくちゃ損よねぇ…」
だって私はオナニー大好きなひなちゃんですもの…！
ビク♡
ビク♡
ビク♡
ハァ
ハァ
ゾク
ゾク
「この快感をもっと得るためにいっぱいいっぱい…気持ちよくならなきゃぁ…！」
そのためにはまずこのディルドを…
「まんこに入れ…」

「んひぅぁあ！？」
あ、あひっ！？
あ、しゃせぇ！？
「んひっ！
あ、あひぇ！？」
あ、こっち、アナルに…
入ってりゅうう！！

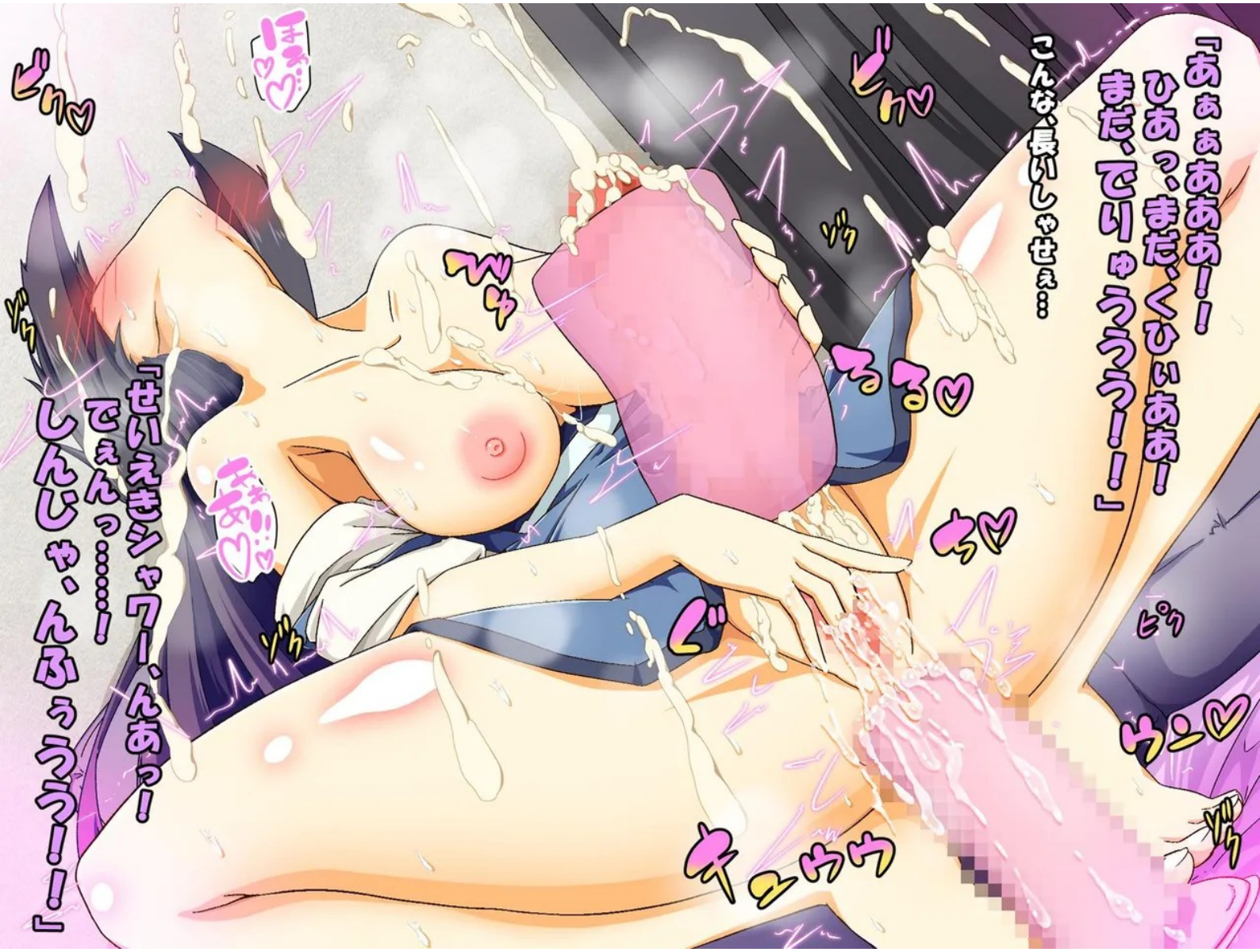
「ま、間違えたけど…
でも手マンも
一緒にできるしぃ…！」
オナニーにはポジティブで
イカなくちゃ…
「じゃなきゃいっぱい、
んひっ！
気持ちよくなれなひぃ、
ものぉ！」
精液溢れてとまらない…！
ずっとイッてるから
止まらないぃ！

「あっ！あんぅぅぅう！
んふっぅ！くあぁあん！」
こんな強い快感生まれて初めてぇ！
こんな気持ちいいオナニー初めてぇ！
「でももでももでも
まだ足りないのぉオオ！」
こんなに気持ちいのに
まだ足りないのぉ…！
満たされないのぉ！！
「あひっ、あ、そうだ…！」

「あひゅうあああ！！
コレぇ、
さいこぉおおぉんん！」
アナルディルドとデマンとオナホの
三点責めぇえええ！！
「んひぅ！あひっ！
くぁあ！
あっ、ぁあああ！！」
全部気持ちよすぎて
体中に響いてきてぇえええ！
「きもちぃ、んぁあ！
気持ちよす、
んひっ、ぎぃい！」

「あ、あひっ！！あ、らめっ！
これ、すごいせいえき、
きてっん！」
上がってきてる上がってきてっ！
今までで一番の精液がちんぽに
貯まってきてりゅうう！！
「こんな、こんな
イキ方しちゃ、あひっ！
もう、耐えられな、
んひぃいいい！」
らめらめ！
もう、快感が止められな…！
あひぅ！あ、あぁ！
くぁぁあ！！！
イ、あっイ、
いいいいい！！」

「いきゅうううぅぅ!!!」
出て、出てりゅあああ
あぁあああ!!
どぴゅ♡
ビクン♡
ビク♡
んほぉ♡
んぎ♡
ウン♡
「しゃせっ!
しゃせぇえええ!!
とまらないいいいいいんん!!!」


「あぁぁあああ！！
ひあっ、まだ、くひぃあぁ！
まだ、でりゅううう！！」
こんな、長いしゃせぇ…
「せいえきシャワー、んあっ！
でぇんっ……！
しんじゃ、んふぅうう！！」

「あ、あひぅ！！
くひぃいんっ！」
ちんぽが…まだ射精して…
噴水みたいに止まらないぃ…
「あひっ、あきゅ、
くあんひぃ…！」
もう、頭、回らな…
気持ちよすぎて身体が
言うこと聞かないぃ…
「あひっ、あ…
も、ホントにらめぇ…」
ホントの意味で…
イッちゃうかもぉ……

……ん
「んんぅ…」
あれ…私は…あ、そうだ
言葉で表せないぐらい気持ちいい
オナニーをしてそれで
気を失って…
はっ
ビクッ
「……ってイカ臭あっ！」

「うわぁ…出しすぎぃ…」
自分の精液ながらこれは…
「引くほど臭うわね…」
制服にもたくさんかかって…
というかコレ明日学校行けないわね…
あはは…
「まあでも…気持ちよかったから満足かしら…」
そう、気持ちよければいいのよ！
「…あれ？」

「ちんぽが消えてない…」
いつもならオナニーが終わる頃にはちんぽが消えていたのに…
「今日のは長持ちなのね」
長い期間薬を飲んだから？
それとも一気に二錠飲んだから？
「これ…どう…」

「…どうしたらもっと
気持ちよくなれるかしら…」
何事もポジティブに…
私は今次にどうオナニーするか
考えを移したわ
「あんなことやこんなこと…
ふふ…楽しみになってきたわ…」
ニッ
ドキ♡
ドキ♡
キュン♡
難しいことは私の友人に頼めば
なんとかしてくれるもの
「そう、今この時の
オナニーを一番にして
オナニーにイキなくちゃ…！」
それが私、織辺型雛の…
オナニー活動なのよ…！

PP

PP